

広報

だんち

2025
4月号

NO.519

(協)焼津水産加工
センター発行

焼津市惣右衛門1280番地の2

令和7年4月28日発行

編集・総務係

TEL・054-624-2111

FAX・054-623-3834

HP・<http://www.yaizufpc.or.jp>

4月団地の言葉

「お互いの一声で防げる労働災害」

3月28日(金)午後、ミャンマー中部のマ
ンダレー近郊を震源としてマグニチュード7.
7の大地震が発生しました。被災された皆様
にお見舞い申し上げるとともに1日も早い復
旧・復興を祈念致します。

外国で発生した震災とは言え大勢のミヤ
ンマー人実習生が働くこの団地にとっては他人
事とは思えません。団地で働くミャンマー人
実習生から家族や親類が被災したと言う報告
は受けておりませんので安心してはいますが、
母国での内戦や震災による被害を心配する声
は多く聞こえてきます。実際に静岡市内や近
隣市町在住のミャンマー人の若者達が静岡駅
付近の街頭で募金活動を行っている様子をニュー
スで目にしました。現時点で判明している犠
牲者数は3千人を超え、負傷者・行方不明者
数が約5千人に達しており、建物の被害は約
7千棟に及ぶと発表されています。瓦礫の除
去などが進み被害の全容が明らかになるにつ
れ更に増えると思われる。ミャンマー政府
は非常事態宣言を発令し諸外国に対し支援要
請をしていますが、国内では内戦が続いてい

るため海外からの支援は非常に困難な状況だ
と言われています。地震発生から数時間後に
は軍事政権側が武装勢力に対して攻撃を再開
するなど災害対応が二の次になっていくそう
です。建物以外に道路や橋の被害も多く交通
インフラが破損している事から被害の大きい
地域に支援の手が届きにくく被災地では一般
市民が素手で救出作業を行うなど被害の全容
把握に時間を要すると思われる。特に被害
の大きかったマンダレーでは地区内の半数以
上の建物が倒壊するなど甚大な被害を受けま
した。地震で家屋を失った市民が余震を心配
して外で生活している様子が報道されていま
したが日中の気温が40℃を超える今の時期で
は健康被害の懸念もあります。怪我人も多く
医療物資の支援が急がれる中、国軍が検問所
で民主派の支配地域に支援物資が入るのを妨
害しており更に医療物資だけでなく医療従事
者の数も不足しているそうです。国軍のク
データー後に「不服従運動」に参加して軍から
迫害された医療従事者が外国へ逃れるなど、
クデーターが災害対応にも悪い影響を及ぼす
事態になっています。早い段階から現地入り
した支援機関によれば、あまり地震の無い国
柄を反映し地震災害に対するノウハウが少な
く救助活動や復旧・復興には諸外国からの支

援に頼る部分が大きい反面、軍事政権のサポー
トが得難い事が阻害要因となっているそう
です。
以上の通りミャンマー国内は非常に厳しい
状況下にあります。1日も早く状況が改善
され元通りの生活が送れる日が来る事を切に
願います。なお、筆者は個人的に現地でも活動
している日本のNGOに僅かばかりですが寄
付をし支援の意を示しました。
今月のだんちの言葉は富士冷さんの作品で
す。

今月の紙面

p2 4月の定例役員会／58期生入国／実習生
定期監査を実施

p3 焼津みなとまつりに業務課が出店／組
織図改定

p4 カツオ情報／総会のお知らせ／献血のお
知らせ

5月の組合行事予定

5月26日(月)

監事会

定例役員会

4月の暦

5月3日(土)

憲法記念日

5月4日(日)

みどりの日

5月5日(月)

こどもの日

5月6日(火)

振替休日

◆4月の定例役員会◆

去る4月7日に、4月度定例役員会が開催されました。

1 令和6年度の概算損益報告と令和7年度 組合予算案の件

前月上程した予算案については1ヶ月間役員各位にて検討をしていただくこととして継続審議としており、今回事務局からの修正事項を含め、これを踏まえて審議がなされ、原案通り承認。この予算案については、6月19日に行われる組合通常総会にて議案として上程される。

また、令和6年度決算の概算として令和7年2月度損益をベースとした試算を報告し、これを基に利益処分案について協議をおこなう、方向性について各役員の了承を得た。

2 ミャンマー実習生送出しの状況報告と今後の対応について

国内情勢が不安定なミャンマーについて、男子の兵役対象年齢の引き下げ、また送出国の送出国数の規制厳格化をされた上に、マダレー付近を震源とする大きな地震による被害により更に情勢が混迷化し、来日の見通しが立たない状態である。組合事務局としてはこれへの対応を検討し、実習生受入企業協議会にてはかり、了承を得た上で各団体の調査・折衝を開始するとした。

3 連絡・報告事項

「人事採用の件」「マリンセンターとの諸契約について」「組合員代表者変更報告」ほか2項目、計5項目について了承された。

◆58期生入国◆



58期生受け入れ予定27名の内、タイ出身の2名は4月8日、バンコク経由で中国国際空港より入国しました。

3月24日受け入れ予定した27名の内、タイ出身者2名はほぼ計画通りに来日したのですが、残り25名はミヤ

ンマー政府の政策変化及び地震の影響で、何時来日できるかは不明のままです。日本政府は人道上で本来3か月の、有効期限の在留資格認定証明書を特例としてさらに3か月延長したのである。それを踏まえても、ミャンマー政府は男子の出国を厳しく制限しており、実習生受け入れ企業は男子の受け入れを諦めました。

2名は集合計画通り、一か月の集合講習を受け、日本語、日本社会常識、社会見学、衛生管理、納税義務、ゴミの分別、海の事情、消防、防災、交通、法的保護などを勉強する予定です。

5月13日に集合講習修了で、14日から雇用開始します。

◆実習生定期監査を実施◆

2025年4月15日に、実習生受入れ企業9社への監査を実施しました。

その前に、一社の労災事故に対し、臨時監査を実施したのです。今回の監査は全社に実習生の労災事故を防止するよう依頼しました。

前回と同じ、実習実施者の実習責任者、指導員などと面談し、実習日誌、賃金台帳、タイムカードなどを確認の上、実習生との面談を実施しました。

実習生の受け入れ企業全社は法令を遵守し、違反がなく、実習活動を順調に進んでいることがわかりました。

技能実習法から育成就労に変わることに対し、受け入れ企業は不安と期待をもっており、早期に情報を提供するよう監理団体に依頼されました。

ミャンマーの政策転換で、すでに在留資格認定証明申請を許可された実習生は来日できるか不明の中、企業の受け入れ計画が翻弄され、他の国からの技能実習生の受入れに迫っております。

もうすぐ5月の連休に入り、実習生が国内の観光によく行くため、受け入れ企業からも安全などを注意するよう依頼しました。



◆焼津みなとまつりに 業務課が出店◆

4月6日(日)に開催された焼津みなとまつりに組合業務課も出店し、佃煮・鰹節・フィッシュカルシウムなどの団地製品を販売して参りました。

当日はあいにくの雨ではありませんでしたが、開催時刻直後から来場客が訪れ買い物を楽しんでいました。

今年は初めてキャッシュレス決済端末を導入しました。

利用するお客様がいるのか、上手く使いこなせるのかどうか少々不安でしたが、現金を使わずに来てくれる方やキャッシュレス決済が使えるとわかるとそちらでの支払いにするお客様も多く、時代の流れに合わせた出店の仕方

も大切だと感じました。

同日、焼津新港では焼津みなとマラソンも開催され、多くのランナーが県外からも参加し賑わっていました。



◆組織図の改定◆

(協) 焼津水産加工センター及び(株) 焼津マリンセンターでは令和7年4月1日より、下記のように新組織の体制に改訂しましたので、お知らせ致します。

《(協) 焼津水産加工センター》

理事	事務局長	参事	部	部長	次長	課	課長・室長	係	係長	主任	係	員	
水野泰成	長谷川隆人	市川 保	業務管理部			業務課	水野真紀子	経理係	村松 原	青野 近藤 栗原	☆小形		
					管理課	共同ガス事業係		◆増田					
			業務管理部付 ((株)焼津マリンセンター出向)	法月隆行	小野田吉晴 橋本雄弥	小泉利容		飯塚 宮本			奥山 江間 山口 原川		
			環境資源部	◆法月隆行	松本浩尚	化成課		生産係	尾崎 増田	虎岩 池谷 小林	巻嶋 鈴木	☆八木 ☆苅和	☆今井 ☆村越 ☆山本
						給排水管理課	池田昌庸			☆柳谷 大石 大石和			
						品質管理室				大山			
						技能実習生受入室	☆楊 鉄偉			ヤン	ティリ	カウン	

◆兼務 ☆パート職員、継続雇用職員、期間雇用職員

《(株) 焼津マリンセンター》

統括本部長	管理部 部長	営業部 部長	次長	部	部・次長	課	課長	係長	主任	係	員				
◆長谷川隆人	法月隆行	小野田吉晴 橋本雄弥		冷蔵グループ (冷蔵庫)		一課 (一冷)	小泉	飯塚	藤田	良知	長瀬	☆山口 ☆原川			
						二課 (二冷)					☆◆橋本	宮本	リ 奥山	☆大石紗	
						三課 (三冷)					☆◆小野田		花岡 青山	江間 池之谷	
				販売グループ (化成原料仕入・化成製品等商事部門)		化成原料部	☆◆小野田								
						化成製品部 商事	☆◆法月								
						FC製造部 (カルシウム等製造・食品等仕入販売)	☆◆法月		◆水野真紀子	分部					

◆兼務 ☆期間雇用職員
*印⇒課業務統括担当者

マーカーは加工センターからの兼務出向者

2025年（1月～2月計）の輸出入 ※輸出はFOB価格、輸入はCIF価格
 ※財務省貿易統計データを加工して作成



カツオ

<輸出>	2025年		2024年	
	数量 t	価額 (千円)	数量 t	価額 (千円)
タイ	1,335	286,878	350	81,065
フィリピン	221	60,581	221	62,098
アメリカ合衆国	0	495	—	—
計	1,557	347,954	571	143,163

<輸入>	2025年		2024年	
	数量 t	価額 (千円)	数量 t	価額 (千円)
インドネシア	5,543	1,168,608	8,477	1,976,991
ベトナム	450	79,070	—	—
セーシェル	82	14,944	—	—
計	6,150	1,277,979	8,681	2,016,967

FOB (Free on board)

買手の指定した本船に商品を積み込むまでの費用を売り手が負担する条件

CIF (cost, insurance and freight)

買主指定の輸入港までの運賃と保険料を付け加えた条件

※水産庁統計データ冷蔵水産物流通統計月末在庫を加工して作成

冷凍かつお月末在庫量	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2025年(単位:t)	22,194												22,194

§ 国内主要漁港市場の水揚（2025年1～2月計）

※水産庁統計データ産地水産物流通統計を加工して作成

情報

<生カツオ>	2025年		2024年		前年比%	
	数量 t	単価	数量 t	単価	数量	単価
<生カツオ>	254	789 円	926	549 円	27%	144%
<冷カツオ>	20,869	284 円	24,841	289 円	84%	98%
<カツオ合計>	21,123	290 円	25,767	298 円	82%	97%

§ 焼津水揚（2025年1～3月計）

※焼津漁業協同組合統計データ取扱高対比表を加工して作成

<1本釣カツオ>	2025年		2024年		前年比%	
	数量 t	単価	数量 t	単価	数量	単価
<1本釣カツオ>	4,209	345 円	4,592	373 円	92%	92%
<巻網カツオ>	10,419	240 円	14,620	246 円	71%	98%
<カツオ合計>	14,628	270 円	19,212	276 円	76%	98%

総会のお知らせ

（協）焼津水産加工センター第53期通常
 総会・（株）焼津マリンセンター第17期通
 常総会を左記の通りに行います。

日 時 令和7年6月19日（金）
 受付時間 14時30分
 15時00分
 開 会 会場 ホテルアンピア松風閣

よろしくお願い申し上げます。

献血のお知らせ

今年も県赤十字血液センターの移動採血
 車による献血を左記の日程で予定して
 おります。

日 時 5月28日（水）

場 所 12時～13時
 組合事務所前駐車場

各企業の皆様ご協力をお願い申し上げます。

